



ジュニア
京都観光大使の



GO GO 体験レポート



9/28

京都のものづくり体験
(京都まなびの街生き方探究館)

参加大使 岡本美鈴さん(西京高等学校附属中学校1年),小仲美齡さん(京都教育大学附属桃山中学校1年),佐藤正嶺さん(洛南高等学校附属中学校1年),塩山司さん(下鴨中学校1年)

京都は、西陣織や京焼・清水焼といった伝統産業だけでなく、先端技術を使った新しいものづくりがとても盛んであることを知っていますか?今回大使たちは、京都まなびの街生き方探究館(京都市上京区)にある「京都モノづくりの殿堂」で、最先端のものづくりについて学んできました。



「**京**都モノづくりの殿堂」には、我が国を代表する京都の企業の創業者の歩みや技術、製品などがブースで紹介されています。解説して下さった二宮靖男指導主事から、スマートフォンの中にあるいろいろな部品には、京都の会社がつけているものがたくさんあり、大きな世界シェアを持っていることを聞いて「**京都の会社がそんなに世界シェアを持っているなんて知らなかった**」(塩山さん)と驚いた様子。

古くからお寺や学校が多かった京都では、経本や教科書を作るために昔から印刷業が盛んだったそう。紙への印刷技術が今のタッチパネルの技術に応用されていることを知り、「**伝統産業と先端産業は違うものだと思っていたけど、実は深いつながりがあることがわかった**」(岡本さん・佐藤さん)と感心していました。電子機器の中に入っているセラミックコンデンサという部品も、京焼・清水焼を作る焼成しょうせいという技術が生かされているそうです!



工房では、実際にものづくりを体験しました。この日作ったのは4つの電子部品を使った「電子オルゴールづくり」。今回は短時間で作ることができましたが、実際のものづくり現場では、たくさんの人々が失敗を繰り返しながら新しい製品を生み出していることも教えてもらいました。



普段はなかなか気づきませんが、私たちの生活の中で、そして世界で活躍している京都生まれの製品たち。「**京都のものづくりはこんなにすごいなんてもっと世界に発信しないともったいない!**」(小仲さん)と「**ものづくりのまち・京都**」のすごさにびっくりの大使たちでした。

～「京都モノづくりの殿堂」～

開設は平成21年2月。普段は京都市立小学校の学習で使用されていますが、夏休み等に一般公開される



期間があります。皆さんもぜひ、

ブースも
どんどん
進化中!

「京都のものづくり」を体感してください!